

町会連だより

■編集・発行
福島市町内会連合会

■事務局
福島市地域共創課
電話 024(525)3731

「災害にも対応し地域のつながりを大切に暮らし続けられるまち」を目指して

私たちの地区を
紹介します！

地区連合会活動紹介⑫ 【佐倉地区町会連合会】

佐倉地区町会連合会について

佐倉地区町会連合会は、町会数 24、加入世帯数 1,035、地区内人口約 3,200 人で構成されています。

居住人口が少なく、小規模な町会が多い地区ですが、町会とは別に佐倉下、上名倉、佐原に区を組織しており、地域での活動は区、全体的な活動を町会連と役割分担しながら地域課題に取り組んでいます。

また、西地域、西地区として荒井地区町会連合会と連携しながら取り組む事業もあります。

佐倉地区について

佐倉地区は福島市西部に位置し、区域の中央を 13 年連続水質日本一の一級河川荒川が流れています。荒川上流左岸の佐原区、荒川を挟んで上名倉区、荒川下流右岸に佐倉下区と大きく 3 つの地区に分かれています。

地区内には国道 115 号、県道上名倉飯坂伊達線、市道佐倉下荒井線（旧 115 号）、市道鳥川大笹生線などの幹線道路があり、あづま総合運動公園や民家園などの公共施設と佐倉西工業団地や上名倉工業団地があります。また、近年は佐原地区にあづま小富士第一発電所合同会社と営農型あづま小富士第二太陽光発電所それぞれによる大規模な太陽光発電所建設が進んでいます。

花いっぱい運動

佐倉地区町会連合会では市のコミュニティ等支援事業補助金を活用し、道路沿い等に花植えを実施しています。例年 6～7 の町会が参加しています。



花植えの様子

親子一斉清掃

市内一斉清掃とは別に、地域の子どもは地域で守り育むという意識を持った活動を推進するため、佐倉地区青少年健全育成推進会が中心となり親子一斉清掃を実施しており、町会連としてもサポートを行っています。



ごみ拾いの様子

防災訓練

西地域防災訓練として、荒井地区町会連と合同で開催しています。コロナ禍で活動を縮小していましたが、災害はいつ起こるかわからないことから令和 4 年度より参加人数の上限を設定して訓練を再開したところです。来年度以降はもっと多くの方に参加してもらえる訓練メニューや方法を検討していきます。



消火器取り扱い説明の様子

避難行動要支援者避難支援連絡協議会

避難行動要支援者に対する支援を協議するために、佐倉地区町会連が中心となって佐倉地区避難行動要支援者避難支援連絡協議会を設立しています。これまでは主に避難行動要支援者の情報把握について取り組みを行ってきていますが、今後は避難行動要支援者の避難支援プラン（個別計画）に関する事など、より具体的な内容について協議を進めていきます。



令和5年度（後半期）のおもな活動内容



1 各地区の連携強化に向けて－新年会・意見交換会－

1月16日（火）ホテル福島グリーンパレスにおいて、新年会を開催いたしました。

各地区連合会長など53名が出席し、来賓として市長、市議会議長、副市長にご臨席いただきました。

引地洲夫連合会長は「各地区で再開してきた町内会活動を、さらに活性化させるよう住民自治組織の課題解決に向け事業に取り組んでいく。」と話し、引き続き各地区一丸となって、明るく住みよい地域社会の実現を目指していくことを確認しました。

また、あいさつの冒頭では、1月1日に発災した「令和6年 能登半島地震」で被災された方へのお見舞いの言葉と、被災地の一日も早い復興への祈りを述べました。



会長あいさつの様子

新年会の前段では、「町内会加入率の向上」を目的に、加入促進に向けた取り組みをテーマとして意見交換会を開催いたしました。

入居者に対する訪問時の説明内容や配布資料など、戸建て・共同住宅ごとに各地区等の取り組みや実情について情報を共有しました。また、地区の中で効果があった取り組みの発表が行われ、「入居者に寄り添った説明や姿勢」が加入に繋がったという意見が多く、その方法などについて説明がありました。

町内会加入世帯の増加や担い手不足の解消に向けて、今回の意見交換会の内容を活かし、効果的な加入促進方法の検討・取り組みに繋げてまいります。



地区の取り組みについて説明している様子

2 町内会加入率の向上・担い手不足の解消へ－先進都市視察研修－

令和5年11月13、14日の2日間、各地区連合会長等21名参加のもと、先進都市視察研修を開催いたしました。

今年度は、自治会加入率の向上及び担い手不足の解消を目的に、これらの課題に対する様々な取り組みなどを行っている栃木県宇都宮市を視察先としました。

研修では、おもな取り組み3点について説明がありました。



研修時の様子

1点目は、自治会への加入メリットの創出を目的とした「自治会員パスポート」の導入です。このパスポートは、市内の提携施設で割引等の優待が受けられるものです。

この事業は、自治会への加入を案内する際、メリットについて説明が難しいと考える町内会長が多かったことをきっかけに導入されました。

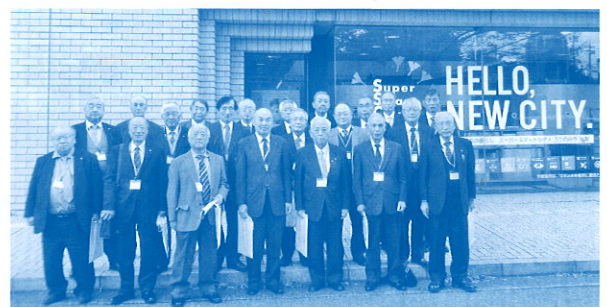
2点目は、地域の活動に気軽に参加・体験できる「まちづくり活動応援」事業です。この事業は、自治会等が実施する活動へのボランティアをインターネット上で募集するものであり、誰でも参加できるものです。

この事業への参加者には活動内容に応じてポイントが付与され、様々な商品と交換できる仕組みとなっており、参加者を集めたい・地域の活動を知ってほしいという自治会等と、地域のことを知りたい・役に立ちたいという参加者をマッチングさせるものです。

3点目は、自治会の創意工夫をとりまとめた「活動事例集」等の作成です。

事例集の作成によって、新たな活動の「きっかけ」や「励み」を創出し、活動団体の活力向上を図ることを目的としております。この活動事例集は、誰でも参考にできるようにインターネット上に掲載しています。

今回の研修では、住民の地域活動への参画が重要であることを再認識したほか、ICTを活用した取り組みについても理解を深めることができました。次年度も地域の課題解決や組織活性化に向け、先進事例の調査・研究に努めてまいります。



宇都宮市役所での集合写真

※本記事における「自治会」という名称は、福島市における「町内会」と同じ住民自治組織です。